



公益財団法人
角川文化振興財団
Kadokawa Culture Promotion Foundation

角川武蔵野ミュージアム
Kadokawa Culture Museum

公益財団法人角川文化振興財団
2023年6月5日

「超複製品」の展示と「本物」をスキャンした 高精細デジタルデータによる映像没入体験で 古代エジプト文明とツタンカーメンの素顔に迫る 「体感型古代エジプト展 ツタンカーメンの青春」(監修・河江肖剰) を角川武蔵野ミュージアムで7月1日(土)より開催

公益財団法人 角川文化振興財団(所在地:東京都千代田区、理事長:川上量生、以下 角川文化振興財団)は、「ところざわサクラタウン」内、「角川武蔵野ミュージアム」1階のグランドギャラリーにて、「体感型古代エジプト展 ツタンカーメンの青春」を開催いたします。会期は2023年7月1日(土)～11月20日(月)で、7月分のチケットは2023年6月20日(火)13時より発売します。

また連動企画として、同館4階のエディットアンドアートギャラリーにて、「神秘のミステリー! 文明の謎に迫る 古代エジプトの教科書」を、2023年7月23日(日)～11月20日(月)に開催いたします。

■ HISTORY は STORY だ! ツタンカーメンの新しい100年が始まる



展覧会キービジュアル

昨年2022年は、考古学者のハワード・カーターが1922年にツタンカーメンの王墓を発見してから100年という記念の年でした。ピラミッドと古代エジプト文明は今も様々な研究、発掘がされ、新しい発見も相次いでいます。本展覧会では、世界で最も有名な王の一人であるツタンカーメンに迫ります。

展覧会のコンセプトは「HISTORY は STORY だ!」。歴史(HISTORY)の中には物語(STORY)があるという考えに基づき、3000余年前の歴史上の人物として捉えがちなツタンカーメンを、生身の人間として捉え、その時代にどう生きて何を思ったかを豊かに想像できる展示空間を作ります。

ツタンカーメンは、父・アクエンアテンの後をわずか8～9歳で継ぎ、19歳で亡くなったとされています。彼が王・ファラオとして即位した期間は、人生の中で青春と呼ばれる期間に重なります。青春時代を王として過ごした若きファラオの短い生涯は一体どのようなものだったのか。

その時代を生きた生身の人間であることを根底に置き、少年王の生き様と物語を、精緻な複製品の数々と最新デジタル技術の融合によって追体験します。これまでの 100 年で行われてきた美術展示とは一線を画す 101 年目のツタンカーメン展は、彼の新しい 100 年の 1 歩目として、歴史とテクノロジーを融合させた体感型の展覧会となります。

■最新テクノロジーを駆使した展示空間で、最古の文明のストーリーを体感

本展覧会には、本物の発掘品、美術品はありません。展示されるのは、世界に 3 セットしかない「超複製品（スーパーレプリカ）」です。有名な黄金のマスクや玉座のほか、ツタンカーメンの王墓に収められていた副葬品のうち約 130 点を精巧に再現したものです。レプリカならではの展示方法で様々な秘宝を目の前で見ることができます。

また本展では、古代エジプトを“体感”する展示を行います。会場内の大空間では、壁と床にプロジェクションマッピングを投影。古代エジプトの創生から神々の変遷をたどるとともに、ツタンカーメンの生涯を目で、耳で、身体で感じるデジタルコンテンツです。また、エジプトから門外不出となったツタンカーメンのマスクや厨子といった副葬品の数々を、「ワールド・スキャン・プロジェクト」の最新技術による高精細 3D スキャンデータから本展覧会のために映像コンテンツ化し、超大型スクリーンにデジタル展示。来場者はその展示物を NFT アートとして持ち帰ることができます。

その他にも、1922 年にハワード・カーターとそのパトロンであったカーナヴォン卿が体験した“世紀の発見”を来場者が追体験できるインタラクティブな空間展示や、王墓の再現、若きファラオの生活を想像し体験できる「ツタンカーメンの日常」、一神教と多神教の間を揺れ動いた古代エジプトの神々の展示、古代エジプトの死生観やミイラを解説するエリア、象形文字「ヒエログリフ」の読み方解説など、多彩な展示を行います。



黄金のマスク



金箔が施された木製の内蔵入れの厨子と天蓋



黄金の玉座



永遠の象徴ヘフ神の透かし彫りのある木製椅子



儀式用チャリオット

撮影：村尾昌美

●ワールド・スキャン・プロジェクトとは

産業用自動化機器メーカーとして、これからの産業や生活にとって重要となるロボットやドローン、その他関連製品を設計・開発する事業を日米で展開。また、自社開発のドローンや 3D スキャンロボットを使って遺跡や自然環境の調査解析とデジタルアーカイブを行っており、それらのデータを活用した ICT 教育・SDGs 教育用のアプリ開発にも取り組んでいます。

今展示では、CTO（チーフテクニカルオフィサー）である市川泰雅氏が、自らエジプトで遺跡や副葬品のスキャン、撮影を行いデジタル化した膨大な 3D データを駆使し、オリジナルアートコンテンツに昇華させました。

・公式サイト <https://world-scan-project.com/>

■監修・河江肖剰、空間設計デザイン・上條安里、音楽・川井憲次のドリームチームが集結

まったく新しい視点から古代エジプト文明を体験する本展覧会のために、制作スタッフとして各界のエキスパートが集結しました。

監修は、エジプト考古学者で名古屋大学高等研究院准教授の河江肖剰（かわえゆきのり）氏。米国古代エジプト調査協会のメンバーにして米国ナショナルジオグラフィックのエクスプローラーにも選出されています。エジプト・ピラミッドの調査研究を専門とし、TBS「世界ふしぎ発見！」や NHK スペシャルなど多数のテレビ番組にも出演、エジプト文明についての知見を世の中に広めている気鋭の研究者です。

空間設計デザインは、映画「ALWAYS 三丁目の夕日」「永遠の 0（ゼロ）」で日本アカデミー賞最優秀美術賞を受賞した美術監督の上條安里（じょうじょうあんり）氏が担当し、ツタンカーメンが生きた古代エジプトを体感できる空間を生み出します。

音楽監督は、「機動警察パトレイバー」や「攻殻機動隊」の劇場版楽曲を作曲した川井憲次（かわいけんじ）氏が担当。本展に合わせて作曲されたオリジナル楽曲「ツタンカーメンのテーマ」が、イマーシブ映像や会場各所を盛り上げます。

●河江肖剰（かわえゆきのり）プロフィール

エジプト考古学者／名古屋大学高等研究院准教授。

古代都市ピラミッド・タウンの発掘やドローンを用いた三大ピラミッドの 3D 計測に従事。2016 年米国ナショナルジオグラフィック協会より、エマージング・エクスプローラー（新世代の探究者）に選出。TBS「世界ふしぎ発見！」、NHK スペシャルなどに出演し、エジプト文明についての知見を広めている。著者に「ピラミッド-最新科学で古代遺跡の謎を解く」（新潮社）、「世界のピラミッド Wonderland」（グラフィック社）など。YouTube チャンネル「河江肖剰の古代エジプト」を開設し、現在登録者 20 万人以上（2023 年 3 月現在）。

・河江肖剰の古代エジプト（YouTube チャンネル） <https://www.youtube.com/@yukiancientegyp>

■連動企画「神秘のミステリー！文明の謎に迫る 古代エジプトの教科書」開催

古代エジプトの謎を解き明かせ！

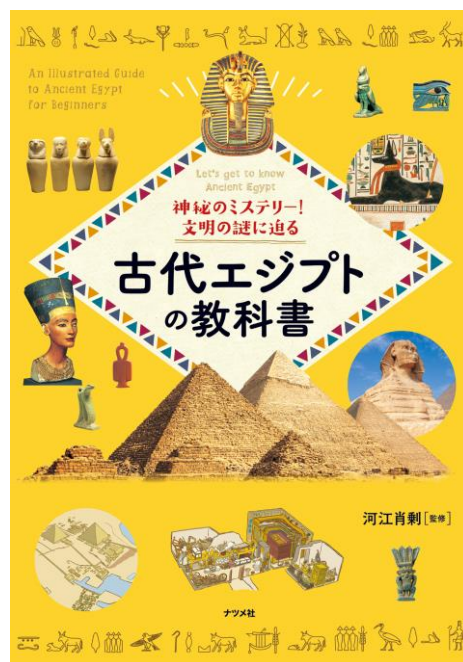
ピラミッドの石はどうやって運んでいたの？

どうしてミイラをつくるの？

この夏、神秘のミステリーに迫ります。

「ツタンカーメンの青春」展にあわせ、角川武蔵野ミュージアム 4 階エジプトアンドアートギャラリーでは「神秘のミステリー！文明の謎に迫る 古代エジプトの教科書」展を開催いたします（7 月 23 日（日）から 11 月 20 日（月）まで）。本展覧会は、「ツタンカーメンの青春」展と同じくエジプト考古学者の河江肖剰氏が監修する、ナツメ社より刊行された同タイトルの書籍の内容をもとに構成。古代エジプトの歴史だけではなく、ファラオや神々、ピラミッド、当時の生活などを多角的な視点から紹介します。

会場内では、展示品を見ながら学んで楽しめるクイズラリーを実施し、古代エジプトで実際に使用された出土品などの貴重な資料を展示します。発掘品や先人たちの研究をもとにした、分かりやすい解説と誰もが楽しめる体験型の展覧会として、古代エジプト文明の謎に迫ります。子どもたちの学習や夏休みの自由研究にもぴったりです。



『神秘のミステリー！文明の謎に迫る 古代エジプトの教科書』

監修：河江肖剰
出版社：ナツメ社

【展覧会概要】

<ツタンカーメンの青春>

展覧会タイトル：体感型古代エジプト展 ツタンカーメンの青春

英語タイトル：Unveiling Tutankhamen: The Pharaoh's Timeless Adolescence

会場：角川武蔵野ミュージアム 1 階 グランドギャラリー

会期：2023 年 7 月 1 日(土)～11 月 20 日(月)

展覧会公式サイト：<https://kadcul.com/event/124>

主催：角川武蔵野ミュージアム（公益財団法人 角川文化振興財団）

監修：河江肖剰（名古屋大学高等研究院 准教授）

協力：RE PROJECT PARTNERS（リプロジェクト・パートナーズ）、Densuke HD、WORLD SCAN PROJECT（ワールド・スキャン・プロジェクト）

チケット価格（税込）：

●オンライン購入（<https://tix.kadcul.com/>）、当日窓口購入

一般（大学生以上）：2,400 円／中高生：1,800 円／小学生：1,000 円／未就学児：無料

<古代エジプトの教科書>

展覧会タイトル：神秘のミステリー！文明の謎に迫る 古代エジプトの教科書

英語タイトル：Let's get to know Ancient Egypt. An Illustrated Guide to Ancient Egypt for Beginners.

会場：角川武蔵野ミュージアム 4 階 エディットアンドアートギャラリー

会期：2023 年 7 月 23 日(日)～11 月 20 日(月)

展覧会公式サイト：<https://kadcul.com/event/125>

主催：角川武蔵野ミュージアム（公益財団法人 角川文化振興財団）

監修：河江肖剰（名古屋大学高等研究院 准教授）

協力：株式会社ナツメ社、ナツメ出版企画株式会社、WORLD SCAN PROJECT（ワールド・スキャン・プロジェクト）

チケット価格（税込）：KCM スタンダードチケット

●オンライン購入（<https://tix.kadcul.com/>）、当日窓口購入

一般（大学生以上）：1,400 円／中高生：1,200 円／小学生：1,000 円／未就学児：無料

※本展覧会の他、当館のスタンダードエリア（常設展エリア）をご覧ください。

<共通情報>

開館時間：日～木 10:00～18:00／金・土 10:00～21:00 ※最終入館は閉館の 30 分前

休館日：第 1・3・5 火曜日

住所：埼玉県所沢市東所沢和田 3-31-3 ところざわサクラタウン内

* 休館日、開館時間は変更となる場合があります。最新情報は公式サイトでご確認ください。

* 「1DAY パスポート」「イブニングパスポート」は両展覧会をご覧ください。詳細は公式サイトでご確認ください。

* 展示替えなどにより、日程によっては一部施設に入場できない場合がございます。

* 展示内容が変更、または中止になる場合がございます。予めご了承ください。

■「角川武蔵野ミュージアム」について

図書館、美術館、博物館が融合した文化複合施設。

館長の松岡正剛氏が世界を読み解く9つの文脈に沿って独自の配架をした「ブックストリート」、博物学者の荒俣宏氏が監修する「荒俣ワンダー秘宝館」、「本と遊び、本と交わる」をテーマにした「本棚劇場」、これら「エディットタウン」は当館のメインエリアです。本棚劇場では、360度を取り囲む高さ8mの巨大本棚にプロジェクションマッピングが映し出されます。

また、マンガや多数の出版社のライトノベルが並ぶ「マンガ・ラノベ図書館」や、企画展が開催される「グランドギャラリー」など、松岡館長が提唱する「想像力とアニメに遊ぶミュージアム」として、様々な「まぜまぜ」を提供します。

建築デザイン監修は隈研吾氏、アート部門ディレクターは神野真吾氏。

公式サイト : <https://kadcul.com/>

Twitter : https://twitter.com/Kadokawa_Museum

Instagram :

https://www.instagram.com/kadokawa_culture_museum

Facebook :

<https://www.facebook.com/kadokawaculturemuseum>

一般の方からのお問い合わせ : 0570-017-396 (10:00-17:00)



© 角川武蔵野ミュージアム

■角川文化振興財団について

角川文化振興財団は「わが国の文化の振興に寄与する」という財団の設立目的実現のために、文芸の成果に対する授賞、文芸に関する出版、文芸の研究や著述の刊行への助成、映画芸術振興に関する助成、また文芸・映画資料の収集・保存・展示等、様々な事業を行っております。

公式サイト : <https://www.kadokawa-zaidan.or.jp/>
